

# コロナ禍を克服し 新しい社会への一歩を



新春の陽光に輝く月山（県労連事務所から臨む）



発行責任者  
勝見 忍

山形市薬師町2-6-15

TEL 023(615)2172

FAX 023(615)2173

URL:<http://www.yamagataroren.com/>

Email:  
[yamagataroren@yahoo.co.jp](mailto:yamagataroren@yahoo.co.jp)

## “コロナ禍だからこそ労働組合”を掲げ、 要求実現へ政権交代を勝ち取る年に

山形県労働組合総連合 議長 勝見 忍

県労連加盟組織のみなさん、県内に働くすべての労働者・県民のみなさん、今年もよろしくお祈りします。2021年の年頭にあたり、ごあいさつを申し上げます。

昨年はコロナに始まり、コロナに終わった1年間でした。今年も年明けから、コロナが猛威を振るっています。菅政権は今頃になって大慌てで「緊急事態宣言」を発出し、ようやく特別措置法の改正に手をつけようとしています。菅首相は、この間GoToキャンペーンの継続にしがみつきました。政権のそうした姿勢自体が、感染抑止に反する誤ったメッセージを国民に与えたことになったと言え、その点では現下の感染爆発は、人災と言っても過言ではありません。

今、緊急に必要なことは、医療機関に対する減収補填などの支援をただちに行うこと、PCR等の検査体制を抜本的に拡充することです。同時に、雇用と営業をコロナ禍から守り抜かなければなりません。立場の弱い非正規労働者ほど解雇・雇い止めの被害をうけています。また、飲食業や観光・旅館業をはじめ中小の事業者が廃業・倒産の危機に瀕しています。国・自治体による施策の継続とさらなる効果的な制度の創出を求めます。

安倍政権の「実績」と政策を丸ごと継承した菅政権は、コロナ対応の無為無策だけでなく、一方で学術会議の任命問題に見られる強権ぶりをあらわにしています。

解散・総選挙は今年の秋までに必ず行われます。労働者の要求を前面に掲げ、市民と野党の共闘を前進させ、共闘候補を擁立して勝利を勝ち取り、政権交代を実現させましょう。山形県では、総選挙の前哨戦ともなる知事選挙が1月24日投票で行われます。全国で唯一、最低賃金の全国一律化を国に提言し、全国屈指の雇用政策、中小企業支援に取り組んでいる現職の吉村みえこ氏をなんとしても再選させましょう。県労連は、吉村氏の推薦を決定し、全力で選挙戦をたたかいます。

コロナ禍の下、労働組合の団結力・組織力・闘争力が試されています。いま全国で、解雇・雇い止めされたり賃下げされたりした労働者が攻撃を跳ね返し、労働組合の結成にいたる事例が相次いでいます。人の集まりが抑制されている中で、労働組合の力を保つにはオンラインやSNSを縦横に活用することも有効です。

コロナ禍だからこそ労働組合に結集する意義を確認し合いながら、たたかいを発展させましょう。コロナ危機を克服するための現在のたたかいこそが、コロナ後の新しい社会を創り出す力となります。

# 山形県知事選 1月24日投票

# 吉村美栄子氏を推薦

## コロナ禍から県民のいのち・生活を守り 全国一律最賃すすめる



鈴木・吉村選対事務局長に  
推薦状を手渡す勝見議長

一月二十四日投票される山形県知事選挙で、県労連は現職で無所属の吉村みえこ氏の推薦を決定しました。十二月十九日の第三回幹事会で確認した。十二月二十一日には吉村選対本部の鈴木木徳夫事

務局長に推薦状を手渡ししました。十一月末、同本部から推薦依頼を受けたのを機に、勝見忍議長が十二月四日の「明るい県民の会」に支援要請があった際に提出した政策文書を、吉村氏側は「政策要望として受け止め、できる限り選挙政策に取り入れていきたい」と回答。問題点や是正されるべき課題も率直に指摘しつつ、全国一律最賃制度を国に提言してきたことや、雇用その他におけるコロナ対策など実績を評価し、自民党県政の復活を許さない立場から、吉村氏の再選をめざすこととしました。

加盟組織には十二月二十八日の県労連連絡で、組合員の候補者選択・政党支持、

県労連は十二月二十一日、自治体キャラバンの一環で県に対し、「コロナ危機から県民のいのちと暮らし、雇用と営業を守るための要請」を行いました。県労連から勝見議長らが参加し、吉村美栄子知事が対応しました。要請書とともに七月豪雨災害の義援金も手渡しました。

勝見議長は吉村知事がコロナ禍の下で、県民のいのちと暮らし、雇用と営業を守るために尽力していることに敬意を表したうえで、解雇や雇止めにあつた立

場が増えている中で、格差を解消して働き続け住み続けられる賃金水準を確保できるよう、引き続き国に最低賃金の全国一律化を求めよう要請しました。

知事は「コロナ禍による難局を県民とともに乗り越えていきたい」と決意を語りました。県のコロナ対策として、雇用調整助成金の県独自の乗せ、離職を余儀なくされた県内労働者への五万円の支援金支給、中小企業への「新生活様式給付金」や無利子・無保証の融資制度などの施策に取り



吉村知事と懇談する  
県労連の要請行動参加者ら

場の弱い非正規労働者や中小事業者が「安心して年を越せるよう支援してほしい」と求めました。とりわけ、コロナ禍の下で、人口の大都市への集中を避けて地域で働きたい

政治活動の自由の保障を前提に、情勢や選挙政策等の学習・討議、職場・地域で

吉村候補への支持拡大、棄権せず必ず投票すること等呼びかけています。

**雇用と営業守り、安心して年越しを  
自治体キャラバンで吉村知事に要請  
七月豪雨災害の義援金も**

## 医療体制拡充求め街頭アピール

コロナ禍の中、医療体制の拡充を求め、コロナ共同アクション（事務局・県労連）は十二月二十五日、山形市内で街頭署名活動を実施し、各団体から十人が参加。感染拡大への不安や政府への批判の現れが、多くの反応がありました。安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための国会請願署名には三十七筆の協力がありました。シールアンケートではGOTOトラベルの一月十一日までとする停止期間について「もっと延長すべき」が二〇

### 「いのち」署名呼びかけ

人、「ちようどよい」一人、「停止すべきでない」一人という結果でした。同アンケートで政府の医療機関への支援については「まったく十分とはいえない」が二二人で、「あまり十分とはいえない」の二人、「十分だと思う」の一人を大きく上回りました。

組んできたと説明しました。また、「最低賃金の全国一律制は引き続き国に対して実現を求め、地域間格差を是正していきたい」と応じました。

さらに、飯澤智美・労働相談センター事務局長が示した労働相談事例に目を通し、夜九時以降営業の飲食店や運転代行業者に前年比売り上げ三〇%減の場合、二〇万〜三〇万円を支給する制度を施行することを明らかにしました。



「いのち」署名に協力する市民ら